

# 川崎堅雄関係文書目録

2018年9月作成

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています  
国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料室の所蔵資料」  
(<http://rnavi.ndl.go.jp/kensei/>)

## 川崎堅雄関係文書目録 【凡例】

- ・川崎堅雄関係文書は、1. 著作、2. 自筆原稿、3. 書簡、4. その他に分類されている。
- ・当目録の記述項目は、資料番号、枝番、表題、作成者、年月日、用紙、備考、数量、旧項目番号、旧整理番号、旧枝番号である。
- ・旧項目番号、旧整理番号、旧枝番号は、『川崎堅雄・豎山利忠関係文書目録<近現代史料・関係文書目録9>』（近代日本史料研究会、2007）の各項目の番号、整理番号、枝番号に対応する。

- ・この目録は、上記の近代日本史料研究会作成の資料目録をもとに作成した。

## 川崎堅雄関係文書目録 【目次】

1. 著作	p. 1
2. 自筆原稿	p. 9
3. 書簡	p. 28
4. その他	p. 29
5. 雑誌記事署名コピー	p. 30

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
1. 著作												
1		ノート 同盟新聞に執筆した文章の切抜き帳 昭和49年－51年	川崎堅雄	1974				同盟新聞に1974年から1976年にかけて掲載された「主張」「大観小観」欄切抜きを収録。枝番は細目。	1	1	20	
1	1	「参院選の必勝へ闘い抜こう」		1974	5	17				1	20	1
1	2	「参院選活動に拍車をかけよう」		1974	5	24				1	20	2
1	3	「自信と迫力のある選挙活動を」		1974	6	7				1	20	3
1	4	「全国数万職場で集会活動を」		1974	6	14				1	20	4
1	5	「もうひと押し最後のツメを怠るな」		1974	6	21				1	20	5
1	6	「必ず投票し闘いの成果示そう」		1974	6	28				1	20	6
1	7	「参院選の成果と当面の課題」		1974	7	12				1	20	7
1	8	「インフレ克服の道きりひらこう」		1974	7	19				1	20	8
1	9	「公企体労働者のスト権の回復」		1974	8	2				1	20	9
1	10	「民社の党勢拡大に協力しよう」		1974	8	9				1	20	10
1	11	「インフレの原因を除く闘いへ」		1974	8	23				1	20	11
1	12	「国民春闘を他山の石として」		1974	8	30				1	20	12
1	13	「国民運動の積極的な展開へ」		1974	9	6				1	20	13
1	14	「経営参加体制の前進のために」		1974	9	13				1	20	14
1	15	「一人ひとりのつくる労働組合」		1974	10	11				1	20	15
1	16	「労組と政党との関係について」		1974	10	18				1	20	16
1	17	「民主的労働組合を学び合おう」		1974	11	1				1	20	17
1	18	「民主的労働運動の昂揚の時」		1974	11	22				1	20	18

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
1	19	「組織の質的強化と量的発展へ」		1974	12	6				1	20	19
1	20	「民社の党勢拡大に協力しよう」		1975	2	21				1	20	20
1	21	「労組の社会的責任について」		1975	2	28				1	20	21
1	22	「統一地方選挙を闘い抜こう」		1975	3	21				1	20	22
1	23	「地方選挙戦の積極化のために」		1975	3	28				1	20	23
1	24	「地方選後半戦の成果を期して」		1975	4	18				1	20	24
1	25	「法律万能主義的論理とは何か」		1975	4	4				1	20	25
1	26	「ストでスト権は回復されない」		1975	4	25				1	20	26
1	27	「統一地方選挙の成果と教訓」		1975	3	9				1	20	27
1	28	「下半期の諸活動推進のために」		1975	6	6				1	20	28
1	29	「同盟組織拡大の時期を迎えて」		1975	6	20				1	20	29
1	30	「公企体労働者のスト権回復へ」		1975	6	27				1	20	30
1	31	「国民悲願の北方領土返還実現へ」		1975	7	11				1	20	31
1	32	「総選挙資金カンパ盛り上げへ」		1975	7	18				1	20	32
1	33	「賃金共闘再構築提言について」		1975	7	25				1	20	33
1	34	「総評の国民戦線構想について」		1975	8	8				1	20	34
1	35	「組織を質的に強化するために」		1975	9	5				1	20	35
1	36	「民主的労組の教育活動の基調」		1975	9	19				1	20	36
1	37	「運動のいのちの脈うつ教材を」		1975	10	3				1	20	37
1	38	「総選挙への活動体制固めよう」		1975	10	10				1	20	38
1	39	「組織拡大月間の成果生かそう」		1975	10	17				1	20	39

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
1	40	「スト権回復の方向を明らかにせよ」		1975	11	7				1	20	40
1	41	「スト規制法の撤廃、政府は決断を急げ」		1975	11	21				1	20	41
1	42	「スト権奪還スト中止に当って」		1975	12	5				1	20	42
1	43	「盛り上がる民主的再編成の波」		1976	1	2				1	20	43
1	44	「総選挙への態勢盛り上げよう」		1976	1	16				1	20	44
1	45	「大会で浮き彫りになった同盟路線」		1976	2	13				1	20	45
1	46	「同盟組織の強化拡大のために」		1976	2	27				1	20	46
1	47	「中央オルグ体制強化のために」		1976	3	19				1	20	47
1	48	「制度的要求の政治ストは不毛」		1976	4	2				1	20	48
1	49	「政権の交替と労働組合の役割」		1976	4	9				1	20	49
1	50	「春闘方式の転換と運動の新気運」		1976	5	7				1	20	50
1	51	「再び春闘方式の転換について」		1976	5	28				1	20	51
1	52	「同盟主導の闘争体制の強化を」		1976	6	4				1	20	52
1	53	「下半期運動の創意のある展開へ」		1976	6	25				1	20	53
1	54	「下半期運動の活力源について」		1976	7	2				1	20	54
1	55	「核禁国民集会を盛り上げよう」		1976	7	16				1	20	55
1	56	「組合活動家の使命感について」		1976	7	23				1	20	56
1	57	「総評の新運動方針の問題点」		1976	7	30				1	20	57
1	58	「共産党の綱領改定と自由宣言」		1976	8	1				1	20	58
1	59	「民主的集中制について」		1976	9	17		大観小観欄		1	20	59

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
1	60	「ある労働組合事務所における女子職員の会 話」		1976	9	24		大観小観欄		1	20	60
1	61	「労働戦線統一」		1976	10	1		大観小観欄		1	20	61
1	62	「賃上げ要求に対する一発回答」		1976	10	8		大観小観欄		1	20	62
1	63	「政策推進労組会議の発足」		1976	10	15		大観小観欄		1	20	63
1	64	「ロッキード事件と三木総裁」		1976	10	29		大観小観欄		1	20	64
1	65	「労働組合の教宣活動」		1976	11	5		大観小観欄		1	20	65
1	66	「労働組合運動と自己中心主義」		1976				大観小観欄		1	20	66
1	67	「総選挙の勝利と今後の課題」		1976	12	10				1	20	67
2		ノート 同盟新聞、全化同盟その他に執筆し た文章の切抜き帳 昭和56年－58年	川崎堅雄					同盟新聞に1981年から1983年にか けて掲載された「主張」その他、切抜を貼 り付け。一部、雑誌同盟その他の雑誌 の複写切抜もあり。枝番は細目。	1	1	21	
2	1	「誠実と相互信頼は統一推進の力」	全日本労働総同盟	1981	1	2				1	21	1
2	2	「労働運動の新段階への三要件」	全日本労働総同盟	1981	1	30				1	21	2
2	3	「心の古里ふまえた団体の発足」	全日本労働総同盟	1980	12	5				1	21	3
2	4	「民社党新方針案四つの問題点」	全日本労働総同盟	1981	2	13				1	21	4
2	5	「労働組合の質的強化について」	全日本労働総同盟	1981	3	20				1	21	5
2	6	「運動の発展段階と組織の活力」	全日本労働総同盟	1981	3	27				1	21	6

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
2	7	同盟273号「巻頭言」	全日本労働総同盟	1981	3	20				1	21	7
2	8	全化同盟、婦人活動家への提言(1)「男女不平等時代の後遺症克服へ」	全国化学一般労働組合同盟	1981	4	1				1	21	8
2	9	全化同盟、婦人活動家への提言(2)「婦人の問題は労働者全体の問題」	全国化学一般労働組合同盟	1981	4	11				1	21	9
2	10	「婦人活動と婦人自身の指導性」	全日本労働総同盟	1981	4	10				1	21	10
2	11	全化同盟、婦人活動家への提言(3)「婦人活動は婦人の指導性に俟つ」	全国化学一般労働組合同盟	1981	4	21				1	21	11
2	12	全化同盟、婦人活動家への提言(4)「国連婦人活動と労働運動の栄光」	全国化学一般労働組合同盟	1981	5	11				1	21	12
2	13	全化同盟、婦人活動家への提言(5)「新しい波に乗る婦人委員会活動」	全国化学一般労働組合同盟	1981	5	21				1	21	13
2	14	「新しい運動の波と婦人の活動」	全日本労働総同盟	1981	5	15				1	21	14
2	15	「統一基本構想の実践的展開へ」	全日本労働総同盟	1981	6	12				1	21	15
2	16	「社会的活力を盛りあげる行革を」	全日本労働総同盟	1981	7	3				1	21	16
2	17	「戦線統一について総評に望む」	全日本労働総同盟	1981	7	31				1	21	17
2	18	「構成産別新運動方針のかなめ」	全日本労働総同盟	1981	9	18				1	21	18
2	19	「全化同盟30周年記念論文入賞きまる 川崎堅雄氏の選評」	全国化学一般労働組合同盟	1981	8	21				1	21	19
2	20	同盟279号「巻頭言」	全日本労働総同盟	1981	9	20				1	21	20



資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
2	21	「国民運動の発展段階を迎えて」	全日本労働総同盟							1	21	21
2	22	「随筆 読書と私」	全日本労働総同盟	1981	10	30				1	21	22
2	23	「教育活動の土壌をきり開こう」	全日本労働総同盟	1981	11	6				1	21	23
2	24	「統一準備会のはえある発足を」	全日本労働総同盟	1981	11	20				1	21	24
2	25	同盟281号「巻頭言」	全日本労働総同盟	1981	11	20				1	21	25
2	26	「統一準備会活動推進のために」	全日本労働総同盟	1982	1	1				1	21	26
2	27	「民社党新方針案二つの問題点」	全日本労働総同盟	1982	1	22				1	21	27
2	28	「青年の夢と可能性を生かす運動を」	全国化学一般労働 組合同盟	1982	1	1				1	21	28
2	29	「反核・軍縮・平和運動の展開」	全日本労働総同盟	1982	2	26				1	21	29
2	30	「行政改革と官公労働者の役割」	全日本労働総同盟	1982	3	19				1	21	30
2	31	「統一準備会の発展的展開へ」	全日本労働総同盟	1982	5	14				1	21	31
2	32	「国鉄改革・再建の主体は労働者」	全日本労働総同盟	1982	5	28				1	21	32
2	33	「行革達成のための国民的潮流」	全日本労働総同盟	1982	6	18				1	21	33
2	34	「総評新運動方針案三つの重点」	全日本労働総同盟	1982	7	9				1	21	34

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
2	35	「全民労協結成の日を目指して」	全日本労働総同盟	1982	7	23				1	21	35
2	36	「構成産別新方針の三つの課題」	全日本労働総同盟	1982	10	8				1	21	36
2	37	「労戦統一成果の発展的展開へ」	全日本労働総同盟	1982	10	29				1	21	37
2	38	「全民労協の組織と運動の前進」	全日本労働総同盟	1983	1	1				1	21	38
3		『週刊民社』974号	民社党本部	1979	12	21		pp.5-8。川崎「同志とは『わがこころ』」23掲載。	1	1	22	
4		[川崎「生き甲斐の火を点ずるもの」『全化同盟』切抜]						枝番は細目。	21			
4	1	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(1)」切抜(『全化同盟』521号)	全国化学一般労働組合同盟	1980	3	1				1	23	1
4	2	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(2)」切抜(『全化同盟』522号)	全国化学一般労働組合同盟	1980	3	11				1	23	2
4	3	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(3)」切抜(『全化同盟』523号)	全国化学一般労働組合同盟	1980	3	21				1	23	3
4	4	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(4)」切抜(『全化同盟』524号)	全国化学一般労働組合同盟	1980	4	1				1	23	4
4	5	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(5)」切抜(『全化同盟』525号)	全国化学一般労働組合同盟	1980	4	11				1	23	5
4	6	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(6)」切抜(『全化同盟』526号)	全国化学一般労働組合同盟	1980	4	21				1	23	6
4	7	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(7)」切抜(『全化同盟』527号)	全国化学一般労働組合同盟	1980	5	1				1	23	7
4	8	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(8)」切抜(『全化同盟』528号)	全国化学一般労働組合同盟	1980	5	11				1	23	8

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
4	9	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(9)」切抜 (『全化同盟』529号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	5	21				1	23	9
4	10	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(10)」切抜 (『全化同盟』530号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	6	1				1	23	10
4	11	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(11)」切抜 (『全化同盟』531号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	6	11				1	23	11
4	12	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(12)」切抜 (『全化同盟』532号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	6	21				1	23	12
4	13	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(13)」切抜 (『全化同盟』533号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	7	1				1	23	13
4	14	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(14)」切抜 (『全化同盟』534号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	7	11				1	23	14
4	15	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(15)」切抜 (『全化同盟』535号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	7	21				1	23	15
4	16	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(16)」切抜 (『全化同盟』536号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	8	1				1	23	16
4	17	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(17)」切抜 (『全化同盟』537号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	8	11				1	23	17
4	18	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(18)」切抜 (『全化同盟』538号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	8	21				1	23	18
4	19	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(19)」切抜 (『全化同盟』539号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	9	1				1	23	19
4	20	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(20)」切抜 (『全化同盟』540号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	9	11				1	23	20
4	21	川崎「生き甲斐の火を点ずるもの(21)」切抜 (『全化同盟』541号)	全国化学一般労働 組合同盟	1980	9	21				1	23	21
5		同盟顧問・川崎「労働運動は不滅だ」(カメラ あぐる欄切抜)						掲載紙不明	1	1	27	

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
2. 自筆原稿												
6		ノート 議事録 同盟会議・全労会議	川崎堅雄	1962	9	5		～1964年10月9日、年常任執行委員会 他の議事メモ。	1	2	1	
7		「日本労働運動史」神奈川同盟労働講座講 義要領	川崎堅雄	1965	11	6		謄写印刷。川崎は同盟本部書記次 長。	1	2	2	
8		わが国労働組合運動の現状と展望	川崎堅雄	1978			同盟新聞用原稿 用紙	「(昭和五十三年)」とあり。	1	2	3	
9	1	[臨調答申と行革の主体]	川崎堅雄	[1982]			同盟用原稿用紙		1	2	4	1
9	2	臨調行革五七年七月の基本答申	川崎堅雄	1982	7		同盟用原稿用紙		1	2	4	2
10		つれづれの誌	川崎堅雄	1984	6	27		～11月27日、『同盟』他掲載記事への 批判・論評など。	1	2	5	
11		[メモ]	川崎堅雄	1988	7	21		「日産労組、全的統一、友愛会議、自 動車労連史、三鷹事件、松川事件」ほ かの記述あり。	1	2	6	
12		東欧・ソ連の情勢をどうみるか	川崎堅雄	1990	1			複写8枚。	1	2	7	
13		春季労働攻勢の見透しとその態勢	川崎堅雄	1952	2	12		「世界民主研究所、研究報告第八十四 号」ほか赤字での書込みあり。同封の 封筒は「講演」と表書き、8～10の資料 を保管。	1	2	8	
14		民労連の発足	川崎堅雄					「世界民主研究所」ほか赤字での書込 みあり。	1	2	9	
15		戦後の労働運動の趨勢と現状について	川崎堅雄					謄写版冊子。表紙に「炭鉱関係講演」と 書込みあり。	1	2	10	
16		労働運動と階級斗争主義	川崎堅雄				全労原稿用紙	同封の封筒は「講演要旨」と表書き、11 ～40の資料を保管。	1	2	11	
17	1	序論	川崎堅雄	[1953]			民労連原稿用紙	「昭和二十八年度(講義)」ほか書込み あり。	1	2	12	1

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
17	2	階級斗争至上主義と労働組合	川崎堅雄	[1953]			民労連原稿用紙		1	2	12	2
18	1	国際代表の来訪	川崎堅雄				全労原稿用紙	「第五回世界青年学生平和友好祭」ほか付記。	1	2	13	1
18	2	総評常幹の決定(二十六、七日)当面の闘争方針	川崎堅雄				全労原稿用紙	裏面にメモあり。	1	2	13	2
19		総評の運動方針	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	14	
20		総評運動方針	川崎堅雄				全労原稿用紙	赤線あり。	1	2	15	
21		各単産の動き	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	16	
22		春季賃上	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	17	
23	1	総評の春季斗争	川崎堅雄				民労連・全労原稿用紙		1	2	18	1
23	2	炭労闘争の見透し	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	18	2
23	3	斗争至上主義	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	18	3
24		新年の挨拶 他	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	19	
25		三一年六月二十一日講演	川崎堅雄	1956	6	21	全労用原稿用紙	「春斗から参院選へ」ほか。	1	2	20	
26		憲法問題、全国・地方当選者 他	川崎堅雄				全労用原稿用紙	裏面に書込みあり。	1	2	21	
27	1	総評の現勢と今後の見通し 他	川崎堅雄	1955			全労原稿用紙		1	2	22	1
27	2	労使関係の共通基調 他	川崎堅雄	1955			全労原稿用紙	裏面に書込みあり。	1	2	22	2
28	1	「賃金闘争の行動綱領」の構成と性格	川崎堅雄	1955			全労原稿用紙		1	2	23	1
28	2	当面する賃金闘争の行動綱領(第一次試案)	川崎堅雄	1955			全労原稿用紙	「総評賃金綱領委員会」と付記あり。	1	2	23	2
29		総評大会後の動き	川崎堅雄	1955			全労原稿用紙		1	2	24	
30		総評大会と総評今後の動向	川崎堅雄	1955			全労原稿用紙		1	2	25	

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
31	1	今後の展望	川崎堅雄				全労用原稿用紙		1	2	26	1
31	2	社会党統一と労働戦線統一	川崎堅雄				全労用原稿用紙		1	2	26	2
31	3	共産党の戦術転換	川崎堅雄				全労用原稿用紙		1	2	26	3
31	4	全労・総評の現勢、相違点	川崎堅雄				全労用原稿用紙		1	2	26	4
31	5	十年間の回顧	川崎堅雄				全労用原稿用紙		1	2	26	5
32		総評の年末斗争方針 他	川崎堅雄				全労原稿用紙	「十一月十一日第二回幹事会」と付記。	1	2	27	
33		本年度労働運動の特徴と今後の見透し	川崎堅雄	1955	12		全労原稿用紙	「一九五五・一二(政研)」と付記。	1	2	28	
34	1	年末斗争の状況	川崎堅雄	1955	12		全労原稿用紙	「一九五五・一二(世民)」と付記。	1	2	29	1
34	2	官公労、公労協斗争の問題点	川崎堅雄	[1955]	[12]				1	2	29	2
34	3	総評の春季賃上斗争	川崎堅雄	[1955]	[12]				1	2	29	3
35	1	労斗ストの教訓、成果	川崎堅雄						1	2	30	1
35	2	総評第三回大会運動方針(草案)	川崎堅雄						1	2	30	2
35	3	戦後労働運動の概観	川崎堅雄						1	2	30	3
35	4	共産党の労組政策	川崎堅雄						1	2	30	4
35	5	戦後労働組合の特徴	川崎堅雄						1	2	30	5
35	6	労斗の政治ストについて	川崎堅雄						1	2	30	6
35	7	労闘スト計画はどんなに進められているか	川崎堅雄						1	2	30	7
35	8	メーデー事件	川崎堅雄						1	2	30	8
35	9	総評の実態分析	川崎堅雄						1	2	30	9

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
35	10	炭労の実態	川崎堅雄						1	2	30	10
36	1	[官公労斗争、炭労斗争、ほかの現況]	川崎堅雄	1956	3	22	全労原稿用紙	「一九五六・三・二二(極東事情)」と付記。	1	2	31	1
36	2	総括	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	31	2
37		石川島造船労組(江ノ島)	川崎堅雄					国鉄労働組合。	1	2	32	
38	1	二十九年度労働運動の回顧	川崎堅雄				全労原稿用紙	「日本政経研究所、世界民主研究所」と付記あり。	1	2	33	1
38	2	年末斗争、春季賃金斗争の大まかな展望	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	33	2
39		能率協会座談会	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	34	
40	1	総評のスケジュール	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	35	1
40	2	総評の秋季斗争方針	川崎堅雄				民労連原稿用紙	「九月三日常幹」と付記。	1	2	35	2
40	3	十一月九日第五回幹事会	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	35	3
40	4	労働プランの斗争	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	35	4
41		本年度の運動の回顧 -デフレ下の運動-	川崎堅雄				全労原稿用紙		1	2	36	
42		全労結成への経過 他	川崎堅雄				全労原稿用紙	「二月十日、日産労連戸塚支部」と付記あり。	1	2	37	
43		政治経済情勢と労働運動の動向	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	38	
44	1	近江絹糸争議と国際的反響 他	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	39	1
44	2	国際・国内労働運動	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	39	2
45	1	斗争力の源泉	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	1
45	2	政治斗争と経済斗争	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	2
45	3	共同斗争と争議応援	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	3

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
45	4	戦線統一問題	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	4
45	5	組織成立の要因	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	5
45	6	組織強化と逆立した共斗戦術	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	6
45	7	企業体労組と産別単一組織	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	7
45	8	ストライキ戦術	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	8
45	9	教育活動の重要性	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	9
45	10	MSA下の労働運動	川崎堅雄				民労連原稿用紙		1	2	40	10
46		国際情勢の動向	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙	同封の封筒は全日本労働総同盟組合会議用封筒、「原稿 メモ在中」と表書き、41～67の資料を保管。	1	2	41	
47		国内情勢の動向	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	42	
48		ジュネーブ軍縮会議(十八ヶ国)	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	43	
49		細谷氏の「組合主義」	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	44	
50		中心的な問題点(民青)	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	45	
51	1	組合民事化運動の思い出	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	46	1
51	2	民労研時代の思い出	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	46	2
52		基本的なねらい 他	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	47	
53		[新聞各社社説の要旨]	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙	朝日・日経・産経各社社説。	1	2	48	



資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
54		総評の臨時大会	川崎堅雄		11	27	全労新聞用原稿用紙		1	2	49	
55		闘いの目標と闘い方	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	50	
56		安保闘争の問題点 他	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	51	
57		問題点	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	52	
58		一九六二年 春闘	川崎堅雄	1962			全労用原稿用紙		1	2	53	
59	1	福永労相、日経連	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	54	1
59	2	倍増計画のアフター・ケヤー	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	54	2
60		[社会新報ほか主張について]	川崎堅雄		11	5	全労新聞用原稿用紙	ほか、に民社新聞など	1	2	55	
61		労組幹部の責任、民主主義の誤用 他	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	56	
62	1	[週刊労働時評ほか解説について]	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙	朝日・毎日各社解説。	1	2	57	1
62	2	総評大会 -修正案	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	57	2
62	3	総評方針	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	57	3
62	4	総評の政治斗争強化について	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	57	4
62	5	太田の議長談話 -反ファッショ統一戦線	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	57	5

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
62	6	「福祉国家建設」の意義	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙	12月15日号民社新聞の主張欄への批評。	1	2	57	6
63		運動方針について 他	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙	総評系労組。中立労組。官公系労組 の民事的再編成を比較。	1	2	58	
64	1	春斗の展望	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙		1	2	59	1
64	2	全造船中央委	川崎堅雄		2	1	全労新聞用原稿 用紙	～2月2日。	1	2	59	2
64	3	「政策転換」「労働プラン」の闘争	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙		1	2	59	3
64	4	重機労連	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙		1	2	59	4
64	5	炭労臨時大会	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙		1	2	59	5
65		民主化グループ当面の具体的問題 他	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙		1	2	60	
66	1	〔党の体質、改善 他〕	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙		1	2	61	1
66	2	活動計画に関する件	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙		1	2	61	2
67		回答	天池清次	1966	11	5	同盟新聞用原稿 用紙	天池は全日本労働総同盟書記長。全 国映画演劇労働組合中央執行委員会 宛回答。	1	2	62	
68		第三回全国主事会議	川崎堅雄		7	10	全労新聞用原稿 用紙	～11日	1	2	63	
69		全労と総評との基本的相違について 他	川崎堅雄				全労新聞用原稿 用紙		1	2	64	
70		「反総評三十万が結集」記事切抜						書込みあり。	1	2	65	

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
71		[各種産業労連等の結成年月日 他]	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	66	
72		政務次官会議	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	67	
73		昭和三十九年春斗の展望	川崎堅雄	1964			電労連用箋 全労新聞用原稿用紙 核禁会議用原稿用紙	同封の封筒は「総評七二年度 運動方針案」と表書き、68～73の資料を保管。	1	2	68	
74	1	青年労働者の問題	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	69	1
74	2	日経連の態度(二十日号の主張)	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	69	2
74	3	ILO対日調査、調停委員会	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	69	3
74	4	同盟会議組織現勢表	川崎堅雄	1963	12		全労新聞用原稿用紙		1	2	69	4
74	5	同盟会議の賃斗方針	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	69	5
75		アカハタ 三月二十一日 内野 統一戦線部長談話	川崎堅雄				全労新聞用原稿用紙		1	2	70	
76		一九六三年春斗と今後の展望	川崎堅雄	1963			全労新聞用原稿用紙		1	2	71	
77		昭和三十九年度労働運動の動向	川崎堅雄	1964			全労新聞用原稿用紙		1	2	72	
78		労働運動の現状と今後の動向	川崎堅雄	1963	7		全労新聞用原稿用紙	副題「総表大会を前にして(総評の新方針批判)」。	1	2	73	
79		労音とはどんな団体か 他	川崎堅雄				全労新聞葉原稿用紙	封筒あり、74～80を保管。	1	2	74	

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
80	1	民社党の組織問題について	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	75	1
80	2	過去5年間全国組織別組織人員増減表						75-1に貼付。	1	2	75	2
81		一九六八年度の運動の回顧と一九六九年度の運動の展望	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	76	
82		昭和三十九年総評大会と労働戦線の動向	川崎堅雄	1964			全労新聞用原稿用紙	表題に「7月20日から大会開催」「新運動方針について」と付記。	1	2	77	
83		企業体労組と産別労組との関係	川崎堅雄	1968			同盟新聞用原稿用紙	表題に「昭和四十三年(日鉱労連)」と付記。裏面にメモあり。	1	2	78	
84		四一年度の賃上げ斗争	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	79	
85		労働組合と女性 -自己を成長させ、全体の前進のために-	川崎堅雄	1966	4		同盟新聞用原稿用紙	表題に「昭和四十一年四月(全国婦人の集い一分科会)」と付記	1	2	80	
86		新国労の発展、拡大について	川崎堅雄	1965	11	18	同盟新聞原稿用紙	封筒あり、81～96を保管。	1	2	81	
87		昭和四十年総評大会(と今後の出方) -新運動方針をめぐる問題点-	川崎堅雄	1965			全労新聞用原稿用紙		1	2	82	
88		一九六八年度の総評大会について	川崎堅雄					同盟新聞。	1	2	83	
89		民主的労働組合運動の基調	川崎堅雄	1968			同盟新聞用原稿用紙		1	2	84	
90		民主的労働組合運動のあり方	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙	「(昭和40年度)」とあり。	1	2	85	
91		一九六六年度の労働運動の回顧と新年度の運動の展望	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	86	
92		昭和四十一年の秋季斗争批判 --〇・二一ストを中心に-	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	87	

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
93		総評第四十回大会について	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	88	
94		総評第四十二回大会について	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	89	
95	1	日共六中総の決定	川崎堅雄					第六回中央委員会総会に関して。	1	2	90	1
95	2	労働組合運動に関する日共六中総の決定	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙	90-1に貼付。	1	2	90	2
96		一九六五年度労働運動の回顧と新年度の展望	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	91	
97		一九六六年春斗の総括と総評の動向	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	92	
98		同盟の基本方針と青年・婦人運動に対する同盟の態度	川崎堅雄	1966	11	3	同盟新聞用原稿用紙		1	2	93	
99		昭和四十二年総選挙後の労働運動の動向	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	94	
100		自動車労連教育センター準備委員会発足に当って	川崎堅雄	1966	10	19	同盟新聞用原稿用紙	「教育活動の重点と戦後労働運動の回顧」。	1	2	95	
101		同盟の新運動方針	川崎堅雄					「(昭和四十一年度)」とあり。81に同封。	1	2	96	
102		[原稿]						枝番は細目。	1			
102	1	「労働運動—二十一世紀へジャンプ」を読んで	川崎堅雄	1988	11	4		複写、「覚書」とあり。		2	97	1
102	2	「労働組合の自己変革—様変わり社会への対応」を読んで	川崎堅雄	1988	11	4		複写、「覚書」とあり。		2	97	2
102	3	江口論文を読んで(つづき)	川崎堅雄	1988	12	5		複写、「覚書」とあり、97-2の続き。		2	97	3

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
102	4	全的統一・新しいナショナルセンター結成の問題	川崎堅雄	1988	5	25		複写、「覚書」とあり。97-4～97-8まで「全的統一問題」という続きの論文。		2	97	4
102	5	(続)官民全的統一の問題について	川崎堅雄	1988	5	27		複写、「覚書」とあり。97-4～97-8まで「全的統一問題」という続きの論文。		2	97	5
102	6	全的統一を一年半後に控えて何が大切か(その一)	川崎堅雄	1988	5	29		複写、「覚書」とあり。97-4～97-8まで「全的統一問題」という続きの論文。		2	97	6
102	7	全的統一を一年半後に控えて何が大切か(その二)	川崎堅雄	1988	5	31		複写、「覚書」とあり。97-4～97-8まで「全的統一問題」という続きの論文。		2	97	7
102	8	官民統一についての友愛会議の方針について	川崎堅雄	1988	6	3		複写、「覚書」とあり。97-4～97-8まで「全的統一問題」という続きの論文。		2	97	8
102	9	全自日産分会の崩壊(再編成)をもたらしたもののについて	川崎堅雄	1988	4	26		複写、「覚書」とあり。		2	97	9
102	10	「連合への期待と提言(和田春生)」を読んで	川崎堅雄	1987	11	7		複写、「覚書」とあり。		2	97	10
102	11	全民労連に望む(重枝琢己)を読んで	川崎堅雄	1987	10	19		複写、「覚書」とあり。		2	97	11
102	12	社会労働評論八月号「連合結成への課題」を読んで	川崎堅雄	1987	8	31		複写、「覚書」とあり。		2	97	12
102	13	二十一世紀型労働運動へのシナリオ(抜粋)第四章を読んで	川崎堅雄	1987	6	27		複写。表題には「商業労連理論委員会発表」と付記、「覚書」とあり。		2	97	13
102	14	路線継承組織(機構)について(二)	川崎堅雄	1987	6	9		複写、「覚書」とあり。		2	97	14
102	15	路線継承組織(機構)について(一)	川崎堅雄	1987	6	1		複写、「覚書」とあり。		2	97	15
102	16	連合本第部の構成について	川崎堅雄	1987	5	30		複写、「覚書」とあり。		2	97	16

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
102	17	労働戦線統一に対する総評の態度について	川崎堅雄	1987	5	29		複写、「覚書」とあり。		2	97	17
102	18	「労働界再編『連合』、事務局は同盟色」記事複写。		1987	4	29		掲載紙不明		2	97	18
102	19	「社会経済国民会議、雇用改善へ六提案」記事複写。		1987	4	30		掲載紙不明		2	97	19
102	20	連合・事務局の構成、要員問題について	川崎堅雄	1987	4	29	日本自動車産業労働組合連合会用罫紙	メモ書き。		2	97	20
102	21	同盟は解体しない	川崎堅雄	1987	1	24	日本自動車産業労働組合連合会用罫紙	「電話にて」とあり、メモ書き。		2	97	21
102	22	労働界の統一に何が必要か(朝日新聞社説)を読んで	川崎堅雄	1987	3	29		複写、「覚書」とあり。		2	97	22
102	23	日産労組の誕生とその初心	川崎堅雄	1987	2	23		複写、「覚書」とあり。		2	97	23
102	24	掲載書不明		1978	10	16		「序文」(19～27頁)の複写、年月日は序文の日付。		2	97	24
102	25	覚書〈日産労組の誕生とその初心〉について	川崎堅雄	1987	2	28	日本自動車産業労働組合連合会用罫紙	「伺ったこと」とあり、メモ書き、複写。		2	97	25
102	26	同盟解散、友愛会議結成の考え方について	川崎堅雄	1987	1	16		複写、「覚書」とあり。		2	97	26
102	27	覚書について	川崎堅雄	1986	10	21	日本自動車産業労働組合連合会用罫紙	覚書「全民労協の連合会への移行について」。メモ書き。97-28の複写。		2	97	27
102	28	覚書について	川崎堅雄	1986	10	21	日本自動車産業労働組合連合会用罫紙	覚書「全民労協の連合会への移行について」。にメモ書き。		2	97	28
102	29	全民労協の連合会への移行について	川崎堅雄	1986	10	17		複写、「覚書」とあり。		2	97	29

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
102	30	組織問題を考える	川崎堅雄	1986	6	29		複写、「覚書」とあり。		2	97	30
102	31	臨教審第二次答申案の問題点	川崎堅雄	1986	6	15		複写、「覚書」とあり。		2	97	31
102	32	全民労協に関する覚え書	川崎堅雄					複写。		2	97	32
103		[原稿]						枝番は細目。	1			
103	1	社会党は行くべき処へ行く	川崎堅雄	1990	4	17	原稿用紙	「覚書」とあり、複写7枚。		2	98	1
103	2	ソ連、東欧を洗っている潮流・核兵器廃絶と軍備の縮減・地球生態系の保全	川崎堅雄	1990	3	6	原稿用紙	「覚書」とあり、複写9枚。		2	98	2
103	3	四野党連合の問題について	川崎堅雄	1990	3	28	原稿用紙	「覚書」とあり、複写6枚。		2	98	3
103	4	記しておきたい三つのこと	川崎堅雄	1990	3	8	原稿用紙	「覚書」とあり、複写6枚。		2	98	4
103	5	東欧・ソ連の情勢をどうみるか	川崎堅雄	1990	1		レポート用紙	「メモ」とあり、8枚。		2	98	5
103	6	民社党は日米安保体制をどのように評価していますか。	民社党					複写75～77頁、「民社党政策ハンドブックより」とあり。		2	98	6
103	7	「労働運動—二十一世紀へジャンプ」を読んで	川崎堅雄	1988	11	4	原稿用紙	「覚書」とあり、複写2枚、2部あり。98-7～98-9には通番号あり。		2	98	7
103	8	「労働組合の自己変革—様変わり社会への対応」を読んで	川崎堅雄	1988	11	4	原稿用紙	「覚書」とあり、表題の論文は江口信一「労働運動—二十一世紀へジャンプ」のものと付記。複写9枚、2部あり。98-7～98-9には通番号あり。		2	98	8
103	9	江口論文を読んで(つづき)	川崎堅雄	1988	12	5	原稿用紙	98-8続き、複写6枚。2部あり。98-7～98-9には通番号あり。		2	98	9
103	10	全的統一・新しいナショナルセンター結成の問題	川崎堅雄	1988	5	25		複写、「覚書」とあり、98-10～98-14までは「全的統一問題」という続きの論文。		2	98	10
103	11	(続)官民全的統一の問題について	川崎堅雄	1988	5	27		複写、98-10～98-14までは「全的統一問題」という続きの論文。		2	98	11



資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
103	12	全的統一を一年半後に控えて何が大切か(その一)	川崎堅雄	1988	5	29		複写、後記(1988年6月17日付)あり。98-10～98-14までは「全的統一問題」という続きの論文。		2	98	12
103	13	全的統一を一年半後に控えて何が大切か(その二)	川崎堅雄	1988	5	31		複写、98-10～98-14までは「全的統一問題」という続きの論文。		2	98	13
103	14	官民統一についての友愛会議の方針について	川崎堅雄	1988	6	3		複写、98-10～98-14までは「全的統一問題」という続きの論文。		2	98	14
103	15	全自日産分会の崩壊(再編成)をもたらしたもののについて	川崎堅雄	1988	4	26	原稿用紙	「覚書」とあり、複写7枚。		2	98	15
103	16	総括的な感想	川崎堅雄	1988	3	16	原稿用紙	複写15枚。		2	98	16
103	17	連合への期待と提言(和田春生)を読んで(覚書)	川崎堅雄	1987	11	7	原稿用紙	「覚書」とあり、和田論文は「改革者」昭和62年8月号掲載との付記あり。複写8枚。		2	98	17
103	18	全民労連に望む(重枝琢巳)を読んで	川崎堅雄	1987	10	19	原稿用紙	「覚書」とあり、重枝論文は「改革者」昭和61年11月号掲載との付記あり。複写6枚半。		2	98	18
103	19	社会労働評論八月号「連合結成への課題」を読んで	川崎堅雄	1987	8	31	原稿用紙	「覚書」とあり、複写14枚。		2	98	19
103	20	二十一世紀型労働運動へのシナリオ(抜粋)第四章を読んで	川崎堅雄	1987	6	27	原稿用紙	「覚書」とあり、産業労連理論委員会発表、複写10枚。		2	98	20
103	21	路線継承組織(機構)について(二)	川崎堅雄	1987	6	9	原稿用紙	「覚書」とあり、複写12枚。		2	98	21
103	22	路線継承組織(機構)について(一)	川崎堅雄	1987	6	1	原稿用紙	「覚書」とあり、複写3枚。		2	98	22
103	23	連合本第部の構成について(覚書)	川崎堅雄	1987	5	30	原稿用紙	「覚書」とあり、複写5枚。		2	98	23
103	24	労働戦線統一に対する総評の態度について	川崎堅雄	1987	5	29	原稿用紙	「覚書」とあり、複写4枚。		2	98	24
103	25	「労働界の統一に何が必要か」(朝日新聞社説)を読んで	川崎堅雄	1987	3	29	原稿用紙	「覚書」とあり、複写8枚。		2	98	25

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
103	26	日産労組の誕生とその初心	川崎堅雄	1987	2	23	原稿用紙	「覚書」とあり、複写20枚。		2	98	26
103	27	同盟解散、友愛会議結成の考え方について	川崎堅雄	1987	1	16	原稿用紙	「覚書」とあり、複写10枚。		2	98	27
103	28	全民労協の連合会への移行について	川崎堅雄	1986	10	17	原稿用紙	「覚書」とあり、複写12枚。		2	98	28
103	29	組織問題を考える	川崎堅雄	1986	6	29	原稿用紙	「覚書」とあり、複写7枚。		2	98	29
103	30	臨教審第二次答申案の問題点	川崎堅雄	1986	6	15	原稿用紙	「覚書」とあり、複写9枚。		2	98	30
103	31	全民労協に関する覚書	川崎堅雄				原稿用紙	複写69枚。		2	98	31
104		戦後の民主的労働組合運動	川崎堅雄				同盟新聞用原稿 用紙	同封の封筒は全日本労働総同盟の封 筒に「労働運動史」と表書き、99～105 までの資料を保管。	1	2	99	
105		友愛会の発足ほかメモ	川崎堅雄					年号表など記載。	1	2	100	
106		日本労働組合運動史						書込みあり。	1	2	101	
107		戦前の民主的労働組合運動の概観	川崎堅雄				同盟新聞用原稿 用紙		1	2	102	
108		日本労働運動史	川崎堅雄				同盟新聞用原稿 用紙		1	2	103	
109		戦後の民主的労働組合運動	川崎堅雄				同盟新聞用原稿 用紙		1	2	104	
110		労働運動史を学ぶための心得(意義と立場)	川崎堅雄				同盟新聞用原稿 用紙		1	2	105	
111		労働運動と私 第四部戦後下八年間の活動	川崎堅雄					封筒あり。	1	2	106	
112		労働運動と私 第四部戦後下八年間の活動	川崎堅雄					封筒あり、107～109を保管。	1	2	107	
113		労働運動と私 第五部第一次労組民主化運 動に参画	川崎堅雄					107に同封。	1	2	108	

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
114	1	目次 労働運動と私	川崎堅雄					107に同封。	1	2	109	1
114	2	労働運動と私 第一部労働運動への十四歳の夢	川崎堅雄					107に同封。	1	2	109	2
115		大会の成果と教訓を生かすために	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	110	
116		社会党の問題について	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	111	
117		総評の新運動方針について	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	112	
118		国鉄労働組合に関して	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	113	
119		一九七四年度労働運動の展望	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	114	
120		十六回定期大会の成果と教訓	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	115	
121		戦前の民主的労働運動の概観	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	116	
122		メモ	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙	大正元年から昭和11年までの労働組合に関する年表。	1	2	117	
123		メモ	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙	大正元年から昭和11年までの労働組合に関するメモ。	1	2	118	
124		総評運動方針に欠落したもの	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	119	
125		核禁会議の歴史的役割と栄光	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	120	
126		運動の原点を踏みしめて前進しよう	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙	複写。	1	2	121	

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
127		労働戦線統一事業に大切なこと	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙	複写。	1	2	122	
128		八〇年代への潮流に乗らんとする総評	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	123	
129		民社党大会の成果と教訓を生かそう	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	124	
130		当面の諸活動を精力的に展開しよう	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	125	
131		官公労働者のスト権回復について	川崎堅雄				同盟編集原稿用紙		1	2	126	
132	1	平和のための運動について	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	127	1
132	2	安全保障問題	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	127	2
133		生産性三原則	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙		1	2	128	
134	1	世界平和追求の基本態度について	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙	複写。	1	2	129	1
134	2	メモ 機関紙	川崎堅雄				同盟新聞用原稿用紙	129-1に添付。	1	2	129	2
135		民社党新運動方針五つの問題点	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	130	
136		行革達成のための国民的潮流	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	131	
137		[労働統一推進会に関して]	川崎堅雄						1	2	132	
138		労働戦線の統一と組織活動の役割	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	133	
139		民社党運動方針における二つ課題	川崎堅雄				同盟原稿用紙	複写。	1	2	134	
140		反核・軍縮・平和運動の展開	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	135	
141		第一節 戦後労働運動の再発足	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	136	

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
142		第一章 敗戦と労働組合の再建	川崎堅雄				全労十年史編纂 委員会用原稿用 紙	印刷指定の書込みあり。	1	2	137	
143		第二章 労組民主化運動と総評結成	川崎堅雄				全労十年史編纂 委員会用原稿用 紙	印刷指定の書込みあり。	1	2	138	
144		同盟運動方針四つの柱について	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	139	
145		行政改革を進めるための三要件	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	140	
146		[行政改革に関して]	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	141	
147	1	メモ	川崎堅雄				同盟用原稿用紙	第二次行政調査会ほかに関するメモ。	1	2	142	1
147	2	第二次臨時行政調査会に関して	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	142	2
148		新しい方向を選んだ総評大会	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	143	
149		構成産別新方針の三つの課題	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	144	
150		労働運動の新段階への扉をひらく	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	145	
151		労働運動の新段階への三要件	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	146	
152		同盟構成産別新運動方針のかなめ	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	147	
153		宣言、主張	川崎堅雄				同盟編集原稿用 紙		1	2	148	
154		運動の昂揚期を迎う	川崎堅雄				同盟編集原稿用 紙		1	2	149	
155		序文	川崎堅雄					24～27頁以外は複写。	1	2	150	
156		議会主義に関する論争	川崎堅雄				同盟編集原稿用 紙		1	2	151	
157		[友愛会の紹介文]	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	152	

資料番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目番号	旧整理番号	旧枝番号
158		[労働組合の源流]	川崎堅雄				同盟編集原稿用紙		1	2	153	
159		友愛会の発足	川崎堅雄				同盟編集原稿用紙		1	2	154	
160		誠実と相互信頼が運動展開の鍵	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	155	
161		統一推進会討議課題の要約	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	156	
162		地位につくことの意味他	川崎堅雄						1	2	157	
163		[わが国当面の平和戦略課題]	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	158	
164		[労働戦線統一について]	川崎堅雄						1	2	159	
165		鈴木文治の文章の抄録	川崎堅雄				同盟編集原稿用紙		1	2	160	
166		メモ	川崎堅雄					国際主義・国際連帯などについてなど。	1	2	161	
167		第一回メーデー	川崎堅雄				同盟編集原稿用紙		1	2	162	
168		労働組合運動に対する共産党の態度 -共産党第十回中委総会の決議から-	川崎堅雄				同盟編集原稿用紙		1	2	163	
169		[中央委労働組合部長、荒俣広のことばの抄録]	川崎堅雄				同盟編集原稿用紙		1	2	164	
170		労働戦線統一に関する共産党の見解	川崎堅雄				同盟編集原稿用紙		1	2	165	
171		わが国に自衛措置、安保改定阻止国民会議の闘争 他	川崎堅雄				全労・同盟用原稿用紙		1	2	166	
172		序章 概観 -解散後二十年の歩み	川崎堅雄				同盟用原稿用紙	赤字での指定・校正あり。	1	2	167	
173		全労の政治活動方針の基調	川崎堅雄				全労用原稿用紙		1	2	168	

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
174		民主的労働運動の流れと同盟会議の地位	川崎堅雄				同盟用原稿用紙	赤字で「要校正」ほか書込み。	1	2	169	
175		[世界平和についての考え方]	川崎堅雄				同盟用原稿用紙	複写。	1	2	170	
176		労働組合の質的強化について	川崎堅雄						1	2	171	
177		民社党新方針案二つの問題点	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	172	
178	1	生き甲斐の火を点ずるもの(労働組合論)	川崎堅雄					執筆方針を箇条書きにしたもの。	1	2	173	1
178	2	生き甲斐の火を点ずるもの・題字						複写。	1	2	173	2
179		昭和初年頃の労働運動の状況	川崎堅雄						1	2	174	
180		[同盟巻頭言ほか川崎執筆分のリスト]	川崎堅雄				同盟用原稿用紙		1	2	175	
181		二つの路線の実践上の相違点	川崎堅雄				同盟新聞用原稿 用紙		1	2	176	
182		労働運動に於ける二つの流れ-民主的労働 組合の考え方とあり方-	川崎堅雄				同盟新聞用原稿 用紙	「労働運動の潮流と同盟現状と将来」と 付記。	1	2	177	
<b>3. 書簡</b>												
183		藤原巖書簡 川崎堅雄宛	藤原巖	1991	12	30		米寿の祝いほか、赤線あり。	1	3	1	
184		水本務書簡 川崎堅雄宛	水本務	1991	12	30		米寿の祝い、赤線あり。	1	3	2	
185		金杉秀信書簡 川崎堅雄宛	金杉秀信	1993	8	2		友愛会創立同盟23年史刊行記念パー ティーの報告と近況。	1	3	3	
186		山崎靖純書簡 川崎堅雄宛	山崎靖純		2	25		お見舞い。	1	3	4	
187		吉本和郎書簡 川崎鈴江宛	吉本和郎	2000	11	23		川崎の遺稿集等送付への礼状、川崎 の追想など。	1	3	5	
188		大西正悦書簡 川崎鈴江宛	大西正悦	2000	12	20		川崎の遺稿集等送付に対してのお礼 状。	1	3	6	

資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
4. その他												
189		日本社会運動人名辞典コピー	青木書店	1979	3			佐野学、鍋山貞親、三田村四郎、川崎堅雄、細谷松太、高野実、穂積七郎の項の複写切抜。	1	5	1	
190		送り状・請求書	木村	1984	6	18		同盟誌合本第No.26の請求書及び送り状。	1	5	6	
191	1	毎日新聞コピー	毎日新聞社		6	25		「戦後史の証言第三部、続財界と政界4」、元蔵相宮沢喜一氏切抜複写。	1	5	7	1
191	2	毎日新聞コピー	毎日新聞社		6	23		「戦後史の証言第三部、続財界と政界3」、社会党前委員長石橋正嗣氏切抜複写。	1	5	7	2
191	3	毎日新聞コピー	毎日新聞社		6	26		「戦後史の証言第三部 続財界と政界5」、元首相福田赳夫氏切抜複写。	1	5	7	3
191	4	改革者 平成2年5・6月号コピー	政策研究フォーラム	1990				第31回全国研究会議報告、関嘉彦「現代における民主社会主義」、24～31頁複写。	1	5	7	4
191	5	改革者 平成2年5・6月号コピー	政策研究フォーラム	1990				第三十一回全国研究会議討議「現代における民主社会主義」、関嘉彦、勝田吉太郎、重枝琢巳、米沢隆など、32～51頁複写。	1	5	7	5
191	6	「7.民社と社民の「未来」 民主社会主義と社会民主主義」コピー						掲載誌不明	1	5	7	6
192		「総評顧問・太田「いまさら右なんて」(カメラあんぐる欄切抜)						掲載紙不明	1	5	28	
193		「同盟顧問・滝田「労働自立へ熱い視線」(カメラあんぐる欄切抜)						掲載紙不明	1	5	29	
194		「総評顧問・岩井「のぞまれる弾力性」(カメラあんぐる欄切抜)						掲載紙不明	1	5	30	



資料 番号	枝番	表題	作成者	年	月	日	用紙	備考	数量	旧項目 番号	旧整理 番号	旧枝 番号
195		「同盟顧問・天池「相互扶助の精神を」(カメラあぐる欄切抜)						掲載紙不明	1	5	31	
196		「新産別顧問・三池「失われた連帯性」(カメラあぐる欄切抜)						掲載紙不明	1	5	32	
197		「新産別顧問・細谷松太「細谷さんのねがい」(カメラあぐる欄切抜)						掲載紙不明	1	5	33	
198		「前全逋委員長・宝樹文彦「気迫こもる”宝樹ぶし」(カメラあぐる欄切抜)						掲載紙不明	1	5	34	
5. 雑誌記事署名コピー												
199		(『全労』『同盟会議情報』『同盟』コピー)						『全労』『同盟会議情報』『同盟』のうち、川崎の署名が追記されていた箇所のコピー。原本は未所蔵。	8	(1)	(14、17、18)	